

お茶新聞

2014年
新茶号

発行元
亀山市辺法寺町
811
市川大楽園製茶

電話
0595-85-0321

FAX
0595-85-3005

新茶の季節がやってきました。

新茶だより 今年はお茶の時期が

好天に恵まれたせいで長く続きま
したね。いよいよ新茶のシーズンが
やってきました。私の茶畑もぐんぐ
んとお茶の芽が伸びはじめて来ま
した。新緑の季節を味覚で感じる
ことができる新茶は本当にいいも
のですよ。今の新芽をつまんで食
べてみたりもしました。鮮度とこ
まみを感じる旬の味です。これを
そのままお客様に届けるだけだ
なあとあらためて感じました。私も、
もう二十年以上この仕事を続けて
います。今まであまり意識してい
ませんでした。今さら「経験」
を生かした余裕の新茶づくりを楽
しみたいのものです。



4月12日の元気な新芽の様子

手もみ茶師範としての初仕事

四月の五日六日東京の日本橋に
ある三重県のアナテナショップ三
重テラスにて、手もみ茶と三重県
のお茶のアピールのために手もみ
茶保存会会員としてイベントに参
加しました。他の会員も数名参加
しました。仕事の内容は来場した
お客さまにお茶の美味しい淹れ方
を通じて三重県のお茶を知って
もらうというものです。手もみ茶師
範より、日本茶インストラクター
としての知識と経験が生きた仕
事でした。三重テラスのショップで
呼び込みをしたこともあり大盛
況で同時に販売していた手もみ茶
もよく売れました。



三重テラス二階の会場の様子

亀山紅茶があさイチで取り上 げられました。

三月二十六日NHKの朝の人気番
組「あさイチ」で亀山紅茶がとり上
げられました。紅茶の美味しい淹
れ方の説明があった後、亀山紅茶の
グループの会長の駒田八平氏がそ
の半生とともに大きく取り上げら
れたので大反響でした。グルー
プの一人である私のところにも東
京や東北からも問い合わせがあっ
たぐらいです。亀山紅茶は戦後何
年も続けて辺法寺町の川戸さんが
農林大臣賞を受賞し隆盛を極めて
いたのです。その亀山紅茶を復活
させようとした取り組みが初めて
注目された気がしました。その駒
田氏とともに造った当店の紅茶も
よく売れています。テレビの影響
はやはりすごいですね。



亀山紅茶が「あさイチ」で
取り上げられた。

現在の茶畑の様子

4月に入ると雨はぐんぐん少なくな
ります。「前回私がそう書いた
ように、4月上旬は好天が続き
雨の少ない天気になりましたが
茶畑の土は今までの雨の「野金」
もあり水分を含んでいるよう
です。

初夏のように暑い日もありまし
たが、けしこ肌寒い日があったり
して、少しづつぬくもり暖かくなっ
てくれるとお茶の味もぐんぐん良
くなると思います。

初めての嫁よめ日記

みなさんーお元気ですか。市川
大楽園製茶の「市川千佳」と申しま
す。今年もお茶のシーズンがやっ
てまいりました。わざわざ来てい
ただけのお客様に「一杯のお茶を
ていねいに淹れ、おいしくいよう」とい
って頂けるのを目標に頑張る所存
でございます。

どうぞみなさんよろしくお願
いいたします。



心よりお待ちしています。